

コース25 やけびたいやま 焼額山

リーダー CL M/T SL S/K, K/T

実施日 平成26年8月27日(水)

天候 曇り

参加者 39 (男性 9 女性 30)

グレード B

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:40	駅西口 → 新津西 IC 経由
道の駅やまのうち	8:40	8:55	車走行中、ガスったり、青空が出たり。
志賀高原プリンスホテル	9:20	9:30	登山口 9:55~10:05 草原状の花畑で休憩
スキー場	10:40	10:50	花畑。特にヤナギラン、アザミ、ヤマノメトコ の群生が見事。
焼額山頂上	11:25	12:45	稚児池を一周。昼食。
奥志賀高原	14:20	15:00	下山。リンドウの丘へ。
フルーツランド	16:05	16:20	休憩。
秋葉区役所前	19:10		新津西 IC → 駅西口経由

山行等概要(幹事のコメント)

- いつもの事ながら気になるのは天気。予報では雨マーク。日を変更することも考えたが、諸般の事情で当初の計画通り実施した。
- この山は志賀高原にあって、国体等のスキー場ともなり、山頂がそっくり大きな池(稚児池)という珍しく、山ノ内町の天然記念物に指定されている。
- 登山道の最初は樹林の上り、やがて広々とした草原に出ると多くの高山植物が出迎えていた。
- 続いてスキー場の上りになるが、振り返ると周辺の花々が見え、足下には真っ白なヤマハハコの大群生が頂上近くまで続いた。
- 山頂の稚児池のほとりに、イワショウブ、ウメバチソウ、モウセンゴケ等が出迎えてくれた。休憩室で乾杯をし、満たされた気分で帰路についた。
- 下山途中には、コオニユリの群生、ヨツバヒヨドリにはアサギマダラ(蝶々)が乱舞しており、眼を楽しませてくれた。ただそのために前に進まなかった。
- 山行中は降らず、照らすの天気で、大汗をかかないで、夏と秋の花々を沢山楽しむことが出来た。
- 天気予報がはずれて、ありがたかった。!



焼額山頂上の稚児池を背に 3・4班の皆様

「焼額山に参加」

(1620) S/I

今年、「古希」を迎えこれからの人生、健康第一に楽しくゆっくり生きたいと願い妻と二人新津ハイキングクラブに入会させていただきました。どうぞよろしく願いいたします。

今回の焼額山登山に当っては実施日前の数日間、天候不順が続きどうなることかと心配していましたが幸いなことに予定通り決行となり、CL、SL 引率のもと6班総勢 40 名の大所帯での山行きとなりました。

8月27日秋葉区役所前を5時40分に出発、志賀高原プリンスホテル西館前登山口に到着、Lを先頭に各班とも班長の指示に従いなだらかな山道を一步一步進みました。心配していた雨も降らず高原のそよ風が気持ちよく感じられる木立の中を登るとようやく見晴らしがよくなり、振り返ると緑の山々を背に志賀高原のホテルやペンションがくっきりと見えました。その瀟洒なただずまいに「わあ！！ヨーロッパの山の気分だ」との声も上がりました。

この辺りは1998年冬季長野オリンピック、アルペン回転競技の会場となったところであり、幾筋ものゴンドラリフトが点在していました。ここから先、ゆるい草原地帯を登っていくと経験豊富なCLも初めてというヤマハハコの大群落に出会いその白い花にしばし我を忘れるほど見とれてしまいました。さらに道中、アザミ、リンドウ、ヤナギランやタムラソウ等々それぞれを誇示するように様々な色合いの花が咲き乱れ自然界の花の美しさをじっくり鑑賞することができました。

予定時間どおり焼額山山頂に到着、稚児池には鳥居と祠が鎮座しており、三々五々、池を囲む歩道坂に座っての昼食となりました。この湿原一帯をモウセンゴケが赤く染めつくしており、ミツバチ、赤とんぼの人間を恐れず草花の蜜を吸い翅を休める姿、さらにはオニヤンマも飛んでくるなど厳しい冬を目前にした生への営みにしばし感動しました。

班ごとの記念写真撮影後、稚児池を一周して帰路は奥志賀高原スキー場のゲレンデを縫って奥志賀高原ホテル側へ下山となりました。目的地が近くなり、砂利と所どころコンクリート舗装の山道を滑らないように斜め歩行で慎重に歩いていると道の両側に白色の花をつけたヨツバヒヨドリが群生し、あたり一面蝶の大群が乱舞しておりました。暫くの間、群舞が続き皆さんから「すごい、すごい」との歓声があがり、この蝶が海を渡り長距離移動するアサギマダラだとわかりました。このような「花と蝶」の楽園に出会うことが出来たことは貴重な体験でした。

帰りのバス車中、CLから「一日良い天気にも恵まれたことへの感謝、今次台風下における情報伝達あるいは申込方法等について、原点に立ち戻り基本が大切」とのお話がありました。

今回、「焼額山に参加」して単に山を登ることでなく、普段見ることのできない沢山の高山植物、蝶に出会えたことは大きな喜びでした。

さらに行程の企画実施に当って、CL、SL、会計、班長さん等多くの皆さんの献身的なご努力があることが大変よく理解できました。新加入の私どもにとって趣味のハイキング、登山を通じ健康を維持できることとさまざまな出会いに深く感謝しております。ありがとうございました。



登る途中花を前に。背に山々が見えてきた。
皆さんの笑顔がいいですね。